

若年性認知症の母と生きる

～大切な人が認知症になったらどうする～

「認知症になったら、何もできなくなるの?」「楽しかった思い出や家族のこともすべて忘れてしまうの?」「認知症の家族の介護って大変?」というイメージがありますが、認知症になっても、さまざまな社会資源を活用し、周囲の理解とサポートを受けながら、住み慣れた地域で自分らしく、いきいきと暮らしています。本講演会では、55歳の若さで認知症を患った母親の介護をされている講師の経験談や当事者からの活動紹介等を通して、認知症になっても支え合える地域づくりについて考えます。



令和6年 11月29日 金 午後2時～4時

受講料
無料

第1部

講演会

若年性認知症の母と生きる
～大切な人が認知症になったらどうする～

講師

フリーアナウンサー
岩佐 まり 氏



プロフィール

大阪府出身。フリーアナウンサー。これまでケーブルテレビやネットチャンネルの司会を務める。55歳の若さで認知症を患った母親を働きながら20年間介護している。その介護の日々を綴ったブログ「若年性アルツハイマーの母と生きる」は、同じ介護で苦しむ方々の間で共感を呼び、月間総アクセス数300万PVを超える人気ブログとなる。著書は、2015年「若年性アルツハイマーの母と生きる」、2023年「認知症介護の話をしよう」。また数々のテレビ番組での特集や全国での講演会を展開中。

第2部

活動紹介

若年性認知症の人を中心にした
生きがいとしての「仕事の場」タック
NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター
代表 **沖田 裕子 氏**・当事者

パネルディスカッション

自分が、家族が、認知症になったら
どんなサポートがほしいと思いますか?

コーディネーター・・・ NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター
代表 **沖田 裕子 氏**

パネラー・・・・・・・・ フリーアナウンサー
岩佐 まり 氏

若年性認知症の人を中心にした
生きがいとしての「仕事の場」タック
当事者

開催場所 鶴見区民センター 小ホール 住所：鶴見区横堤5丁目3-15

定員 200人(先着順) ※定員を超え、受講していただけない場合のみご連絡します。

申込期日 令和6年11月21日(木)

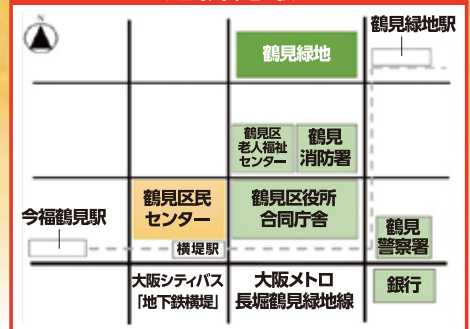
申込方法 電話・FAXまたは
右記二次元コードからの申込み
☎:06-6913-7070 FAX:06-6913-7676



申込フォーム

主催 大阪市鶴見区社会福祉協議会
(地域支援担当・見守り相談室・つるりっぷオレンジチーム)

近隣見取図



大阪メトロ長堀鶴見緑地線「横堤」下車4番出口
大阪シティバス「地下鉄横堤」北へ1分

申込書

氏名	所属・職業 (任意)	年齢 (任意)
住所	連絡先	
配慮が必要な事項 (例)車いす、手話通訳等	講師に聞きたいこと等	

※提供していただきました個人情報につきましては、本講演会のためだけに使用し、他の目的で使用したり第三者に提供することはありません。